

平成23年度 立山黒部アルペンルート営業概況について

このたび、11月30日をもちまして、アルペンルートの営業を終了いたしましたので、標記の件について、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 入込人員	富山入込	38万9千人	前年比	80%	(9万9千人)
	大町入込	43万8千人	前年比	85%	(7万5千人)
	入込計	82万7千人	前年比	83%	(17万4千人)

2. 営業日	通年営業	(電鉄富山 ~ 立山 駅間)
	4月10日	部分開通(電鉄富山 ~ 弥陀ヶ原間、室堂 ~ 信濃大町間)
	4月16日	全線開通(電鉄富山 ~ 信濃大町間)
	11月30日	営業終了(立山 駅 ~ 信濃大町間)

3. 旅客の動向

国内入込客(773,000人 前年比86% 131,000人)

東日本大震災の影響により、旅行商品の新聞等への広告が停止され、全国的に旅行を自粛する動きが強まる中、4、5月は団体客が前年のおよそ半分に、個人客もゴールデンウィークこそ前年並みでしたが、累計では前年を下回りました。

自粛ムードも和らいだとみられる6月以降、運賃割引キャンペーンなど全線開業40周年の記念事業を展開し、集客に努めました。梅雨明けが早く、猛暑の続いた7、8月はお盆前後で前年を上回る日もあり、このまま回復に向かうかと思われましたが、8月下旬以降天候不順が続き、特に9月は二度の台風上陸が影響し二回あった三連休も伸び悩んだ上、10月にかけての紅葉時期も週末は天候が悪く、団体・個人とも低調に推移し、結果、前年実績を大幅に下回りました。

訪日入込客(54,000人 前年比56% 43,000人)

震災と福島原発事故の影響で、世界各国が日本への渡航自粛勧告をするなど、4月の営業スタート時はほぼ壊滅状態にありました。そこで、富山県等と連携し台湾等の旅行代理店やマスコミを招聘するなどして、日本全体が危険であるかのような風評被害の払拭につとめた結果、6月以降、台湾からの入込は前年を上回るほど効果が現れました。しかしながら台湾以外の主要国である韓国や香港、また新たにセールスを始め、のびつつあった中国、シンガポール、インドネシア等が一年を通じて低迷し、全体としては前年実績を下回りました。

(国別実績)

台湾	: 45,900人	前年比	74%	16,300人
韓国	: 3,100人	前年比	19%	13,500人
中国・香港	: 4,000人	前年比	32%	8,500人

4. 平成23年度に実施した主なイベント等

- ・第18回立山・雪の大谷ウォーク(4月16日~6月12日 5/31より期間延長)
- ・星にいちばん近い駅の七夕祭り(7月23日~8月7日、1年目)
- ・立山アルペンフェスティバル2011(9月9日~11日、1年目)

5. 平成24年度営業(予定)について

- ・4月10日(火)部分開通(電鉄富山~弥陀ヶ原、室堂~信濃大町間)
立山ロープウェイ新型客車導入(大観峰~黒部平)
- ・4月17日(火)全線開通(電鉄富山~信濃大町間)
- ・第19回立山・雪の大谷ウォーク:平成24年4月17日~6月10日

以上